

シラチャ校だより

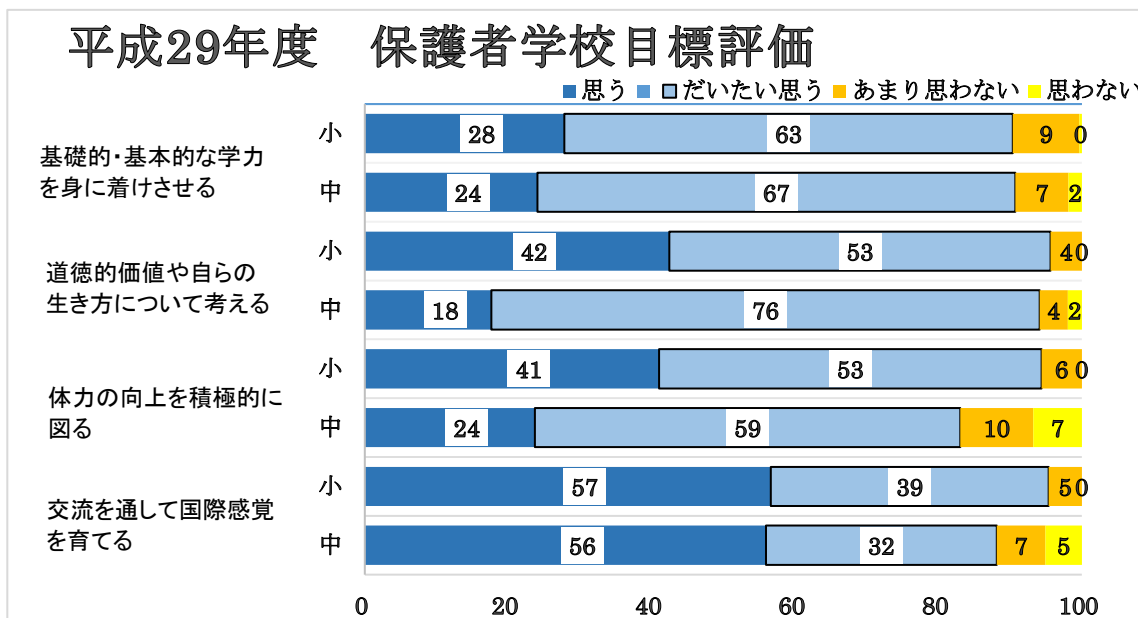
泰日協会学校
シラチャ校
2018. 3. 15



平成29年度を振り返って

泰日協会学校シラチャ校 校長 久光靖男

ゴールデンシャワーの花が咲き始め、1日毎に夏季の訪れを感じる今日この頃です。さて平成29年度卒業式が10日に、修了式が15日に執り行われ、皆様のおかげをもちまして無事修了いたしました。ご協力に深く感謝申し上げます。皆様からアンケートの結果を元に次年度への課題を考えてみました。



保護者の方からの今年度の評価は上のグラフのようになりました。「思う」、「だいたい思う」という肯定的なご意見を多数いただきました。ありがとうございました。**学力の向上**に向けた取り組みについては、「シラチャスタンダード」による学校での学習環境の整備は定着してきたものの、家庭学習の進め方など習慣化の面で更に努力を要すると感じています。**徳目**については、それぞれの学級での授業（道徳）への取り組みには工夫が見られ、子供たちはよく理解しています。日常生活の中で生かせるようにしていくことが更に大切だと感じています。**体力向上**については体育の時間の運動量の確保への工夫と合わせて、休み時間を活用した縄跳び大会などイベントの工夫により体を楽しく動かす姿が多く見られています。さらに心肺機能を高める指導の工夫をしていきたいと思えます。**国際感覚の向上**については9年目という事で交流自体は非常に内容が深まり、お互いに収穫の多い交流になっています。交流を通して気がついた事感じた事を日常生活の中で実践していけるかどうかか問われていると思えます。今後の計画に生かしていきたいと思えます。

保護者の皆様からのアンケートを通して、お子様や学校への期待を改めて強く感じることができました。将来日本とタイの架け橋となってほしい。そんな思いを共有しながら、シラチャ校らしい取り組みを行っていききたいと思えます。10周年の節目の年に向けて、今後も本校の教育活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。

< 29年度が終わります。 >

今年度もあと数日で終えようとしています。今年の小学部は、いろいろなことが新しくなりました。その1つとして、行事の時期の変更があります。5年生のジャンタブリー臨海学校の時期を2月にしたこと。そしてそれに伴い、1月に行っていた学習発表会を9月に移動させ、シラチャ祭として小中合同で行いました。大きな変更を行った初めての年ということで、9月から11月にかけては行事に追われ、忙しい日々を過ごしていたと思います。それでも何とか子供たちの頑張りで、乗り越えることができました。2月のジャンタブリー臨海学校も遠泳を無事に終えることができ、大成功に終わりました。過去の臨海学校で遠泳を波の関係で行うことがなかなかできなかったのが、良い時期に行うことができました。

いろいろと新しいことが始まった今年度でしたが、先日の卒業式では、卒業生は立派な姿を見せることができたと思います。この1年を先頭に立って引っ張って行ってくれた6年生たちが最後に見せた姿は、とても素晴らしかったと思います。たくさんの方があった1年間、日々の生活や行事など、その一つ一つが彼らをそして在校生を大きく成長させたと思います。子供たちと教職員、そして保護者の皆さまの皆様のがんばりでまた一つ、シラチャ校を大きくしていけたのではないのでしょうか。これからも子供たちのために尽力していきます。保護者の皆さまにおかれましては、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

小学部長 荒井 崇二



中学部の1年間をふり返って

ゴールデンシャワー（タイ語ではラーチャプルック）の花が学校のあちこちを彩る季節となりました。この花を見ると、日本の桜のように別れの季節を感じます。花言葉「印象的な瞳」のように、この1年も生徒たちの瞳がきらめくたくさんの瞬間がありました。

始業式・入学式での新たな出会いで始まった4月。試行錯誤しながら、教員も生徒も中学部の生活に少しずつ慣れていきました。7月の交流学习会では、タイと日本の文化交流を楽しく深めることができました。一緒に相撲をとったり、紙飛行機を飛ばしたりと、笑顔があふれる1日となりました。9月、みんなが主役になったシラチャ祭。一生懸命に練習を重ねてきた美しい歌声が合唱コンクールで響き合いました。11月、熱い心がぶつかった運動会。応援合戦や表現のガチ☆ダンで生徒たちの素晴らしい姿に魅せられた方も多かったと思います。そして3学期、3年生は受験に向けてクラスの団結力が深まりました。互いに勉強を教え合い、励まし合うことで、つらい時期を乗り越えました。どんな事でも、一生懸命の先には達成感や充実感、感動があります。一方で、悔しさや苦しみもあると思います。それでも何かひとつ乗り越えて経験を重ねることで、着実に成長してきたはずです。また、一人ひとりの力が合わさると、大きな力となることも実感できたと思います。心の成長に終わりはありません。これからも様々なことに向上心をもって挑戦し、自分を高めていってほしいと願っています。

結びに、保護者の皆様にお礼申し上げます。この1年間、至らぬ点も多々あったと思いますが、皆様のご理解とご支援があったからこそと教職員一同心より感謝しております。本当にありがとうございました。次年度も引き続き尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

中学部長 志磨 智恵子

